オートクルーズ機能付スロットルコントローラー

3 drive・AC
AUTO CRUISE & THROTTLE

取扱説明書 （品番：THA）

この度はPIVOT製品をお買い上げいただき
ありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

●製品を他の人へお譲りする場合は必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

＋

ご使用のまえに
製品の特長
配線接続方法
製品の固定
初期設定
車速パルス設定
操作方法
お困りのときは

目 次

装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒7ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

純正ECU以外は装着不可

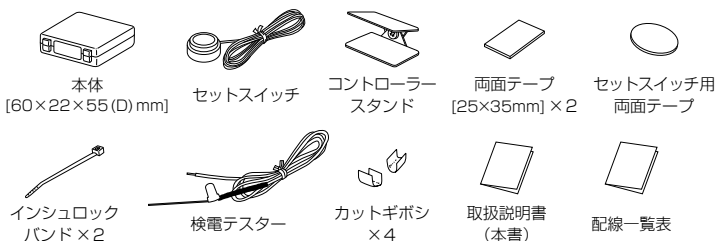
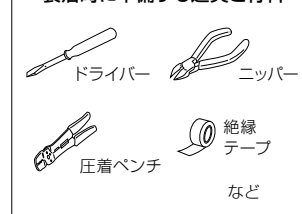
ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合は取付できません。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、nor（ノーマル）モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

内容物をご確認ください

装着時に準備する道具と材料

特 長

レスポンスとオートクルーズを上質に制御！

3-drive・ACはオートクルーズ機能付で
レスポンスをSPORTSからECOまで調整できる
スロットルコントローラーです。

基本特長

SAFE ＆ SMART

小型本体　小型ワンボディの本体は様々な場所に設置可能。
デジタル制御　温度やノイズ影響の少ないマイコン制御。
初期設定式　クルマに応じた特性を初期設定し安定動作を実現。
安全優先　様々なトラブル時も安全制御を最優先した安心設計。

オートクルーズ

快適 ＆ ECO

オートクルーズ　設定した速度で自動走行が可能。(約30～140km/h)
速度差の少ない制御　独自の制御方式とレベル調整機能で「速度差が少なく」急加速も抑えた「乗り心地の良い」オートクルーズ。
操作性の良いスイッチ　片手で操作できるセパレート式のスイッチは、様々な場所に両面テープで簡単に貼り付けられます。
動作解除　オートクルーズ中にブレーキを踏むと、純正車と同じく瞬時にオートクルーズが解除され、通常表示に戻ります。また、「セットスイッチ操作」「ブレーキヒューズ切れ」「設定速度より極端な速度低下時」の場合も解除。
異常加速防止　出力信号はマイコンが２系統で監視し、万一のトラブル時はノーマル状態に復帰し、異常加速を防止する安全設計。

速度差試験例　59 $^{+1}_{-0}$ km/h

燃費試験例（消費量）

条件	燃費	消費量
オートクルーズ 60km/h	12.4km/L	(121cc)
波状走行 55～65km/h	9.9km/L	(151cc)
波状走行 50～70km/h	8.2km/L	(183cc)

本数値は実走行試験結果の一例で
クルマや道路環境などで異なる場合があります。
・車種＝ワゴンR（MH23S）・道路勾配＝上り平均1.5度 ・距離＝1.5km
※波状走行とは設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

車種別専用ハーネス

3-drive ▶ 3-drive

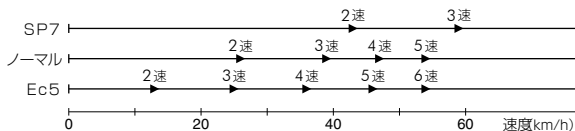
アクセル部への接続は車種別専用ハーネスで簡単に装着できます。また、すでに3-driveシリーズをご使用中の場合、別購入は不要です（国産車の場合）。

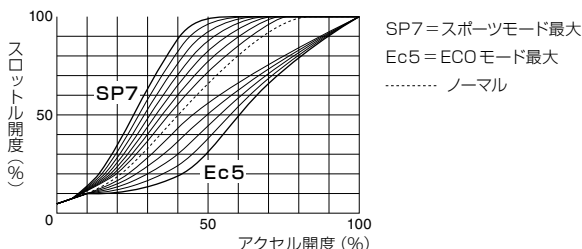
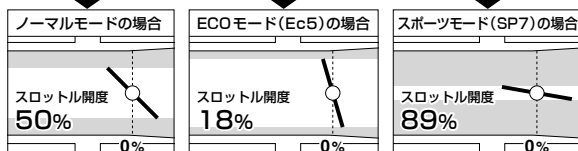
スロットルコントローラー

SPORTS ＆ ECO

SPORTS & ECO　レスポンスアップしたスポーツ走行から、ダウンさせ燃費アップに効果のあるエコ走行までお好みに応じた調整が可能。
12段階調整　スポーツ7段、ECO5段のお好みに応じた幅広い調整。
アクセルモニター　アクセルの踏み込み量を表示し、踏み込み過ぎに注意したエコ運転などに便利。

各モード性能（0～400m）　・車種＝ホンダ ステップワゴン（RG1）

ギヤ変速比較　・車種＝ゴルフGTI（1KAXX）

SP7＝スポーツモード最大　Ec5＝ECOモード最大
条件＝アクセル開度30%固定
※CVTや変速ショックの少ないクルマは体感が小さくなる場合があります。

スロットル開度変化　・車種＝スズキ スイフト（ZC31S）

※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブでなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

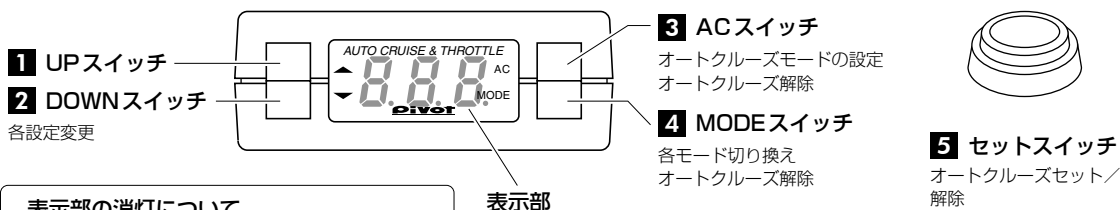
各部の名称

1 UPスイッチ
2 DOWNスイッチ
各設定変更

表示部

3 ACスイッチ
オートクルーズモードの設定
オートクルーズ解除

4 MODEスイッチ
各モード切り換え
オートクルーズ解除

5 セットスイッチ
オートクルーズセット／解除

表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
SP1～SP7	スポーツモード（数字が大きい＝レスポンスが高い）
Ec1～Ec5	ECOモード（数字が大きい＝レスポンスが低い）
nor	ノーマル（純正状態）
A□□	アクセル開度表示
on.	オートクルーズモードON
oFF	オートクルーズモードOFF
Acc	オートクルーズ動作中
bAc	リバース時（スポーツモード中のみ）

設定中の表示

表示	説明
cAr	初期設定モード
L□□	アクセルを踏まない位置
H□□	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PLS	車速パルス設定モード
P-□	車速パルス数
L-□	オートクルーズレベル調整

⚠警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠注意

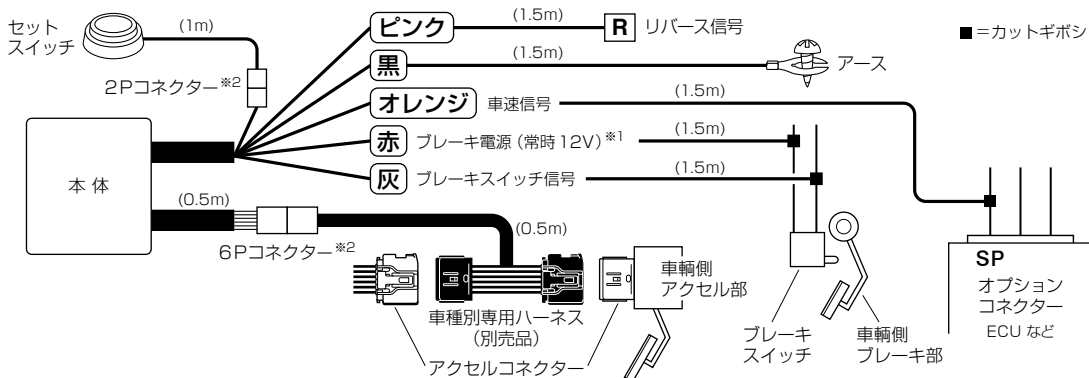
右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 間違った設定や使用方法による車輛、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 装着できる車種かどうかは、3-drive・AC対応車表でお確かめください。
- 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- エレクトロタップは使用しないでください。
- 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- お手入れは乾いたやわらかい布（めがね拭き）で拭いてください。
- アルコール・ベンジンなどは使わないでください。
プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- 加工・分解および改造は行わないでください。

配線接続方法

ご使用のまえに
製品の特長
配線接続方法
製品の固定
初期設定
車速パルス設定
操作方法
お困りのときは

基本配線

取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。

※1　ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。
※2　コネクター差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

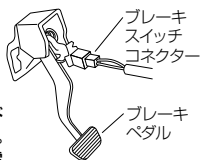
●車輌側コードへ接続時は、通電不良の原因になるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

●ブレーキスイッチコネクターは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。

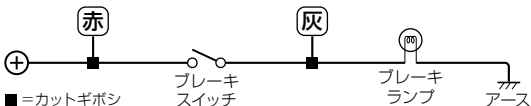
●配線作業は必ずバッテリーの ⊖ 端子を外して行ってください。

ブレーキスイッチ（ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号）

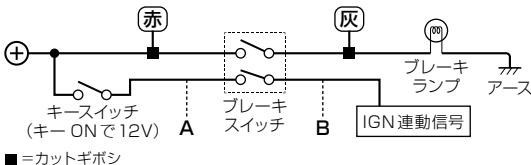
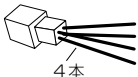
赤 ブレーキ電源へ（常時12V）

灰 ブレーキスイッチ信号へ

●ブレーキスイッチコネクターからのコードは2本または4本以上の場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。

●接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

コネクターのコードが2本の場合

コネクターのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。（各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。）

■＝カットギボシ

検電方法（⇒ 5ページ【参考1】検電テスター（付属品）の使い方参照）

1. キースイッチはOFFでギヤはP(パーキング)またはN(ニュートラル)
2. 別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	✹（12V）	✹（12V）	ブレーキ電源
灰	○（0V）	✹（12V）	ブレーキスイッチ信号

✹＝検電テスター点灯　○＝消灯

※コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か**「ブレーキハーネス」**から配線方法を選んで作業を行ってください。

①指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
②未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

直接接続の場合

「配線一覧表」の“接続番号”のコードへ、赤と灰コードを付属のカットギボシを使用して接続してください。
（⇒ 5ページ【参考2】カットギボシの使い方参照）

表中の“ブレーキハーネス接続コード色”は、クルマ側のコード色ではありません。

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続 接続番号		ブレーキハーネス接続色	
			製品のコード色			
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	①	②	青	黄

ブレーキハーネス（別売品）使用の場合

「配線一覧表」の“ブレーキハーネス接続色”へ、赤と灰コードを接続してください。
（詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。）

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続 接続番号		ブレーキハーネス接続色	
			製品のコード色			
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	1	2	青	黄

車速信号

オレンジ **別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用し接続。**
（下記【参考2】カットギボシの使い方参照）

※三菱・スズキ・日産の一部車種は別途車速パルスアダプターが必要です。
※接続は車輌側コードの指示された場所に行ってください。
（CAN-BUSアダプターには接続しないでください。）

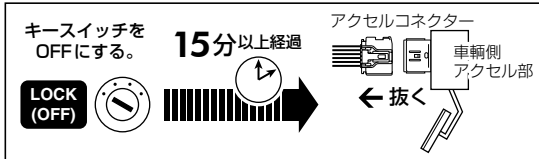
アース

アースが取れる金属部のネジに固定する。

※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

車種別専用ハーネス（別売品）

6P コネクター **車種別専用ハーネスの6Pコネクターと接続。**

⚠ アクセルコネクターの取り外しは キー OFF後15分以上経過してから行ってください。
車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
（チェックランプ点灯の場合⇒12ページ「チェックランプ消灯方法」参照）

※車種別専用ハーネスの接続方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参照してください。
※ケーブルの長さが足りない場合は、別売の延長ケーブル［THC-EC］（¥1,500・税別）をお買い求めください。

セットスイッチ

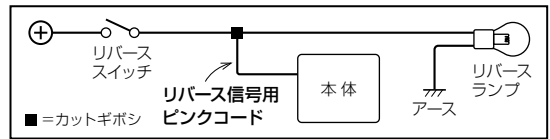
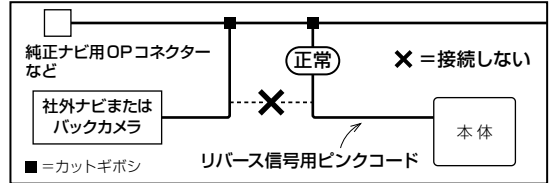
2P コネクター **本体からの2Pコネクターと接続。**

リバース信号

リバース配線を行うと、スポーツモードでのR（リバース）時、ノーマル状態に自動的に切り換わります。また、このときはオートクルーズセットもできません。
※リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、必ずしもこの配線を行う必要はありません。
※ECOモード・ノーマルモード中は動作しません。

ピンク **●ギヤ位置**
R（リバース）時＝12V、その他の位置＝0V

（検電方法） キースイッチON（エンジンは始動しない）でギヤをリバースへ動かす。
（接続方法） 先端の黒チューブをカットし、下記の要領で接続

■リバース信号へ接続する場合

■純正ナビ用オプションコネクターなどへ接続する場合
社外ナビゲーションのリバースケーブルへは接続しないでください。

（接続の確認）
リバース信号が入力されるとスポーツモード中のみbAc表示し、ノーマルモードに切り換わります。

bAc

❗ オートクルーズを使用しない場合の配線

赤 ＝常時12V（ブレーキ以外でも可）
黒 ＝アース
灰 オレンジ ＝どこにも接続しない

【参考1】検電テスター（付属品）の使い方

一部の車種において、電流容量不足から付属検電テスターやLED検電テスターが使用できない場合があります。その場合はアナログテスター等をご使用ください。

【参考2】カットギボシの使い方

1	2	3	4	5	
接続するコードの被ふくをむく。	製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。	かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

（図中：10mm）

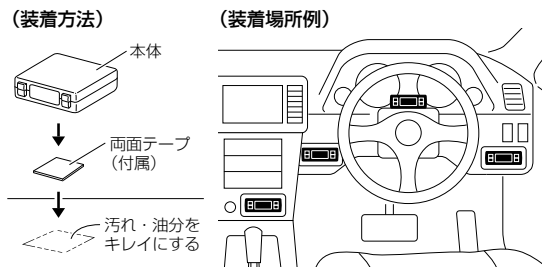
手順2

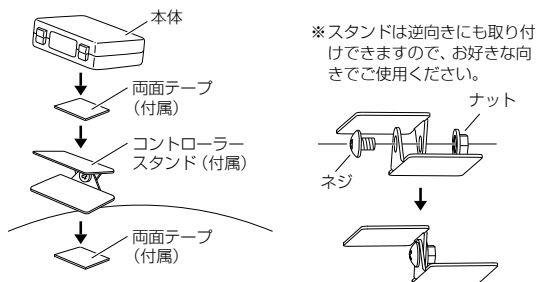
製品の固定

⚠ **配線はテープなどで収納してください。** 使用中に配線がからまると運転操作に支障をきたします。また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

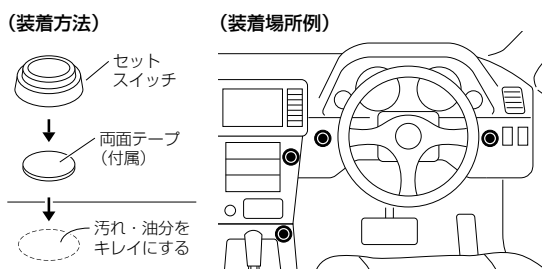
本体の固定

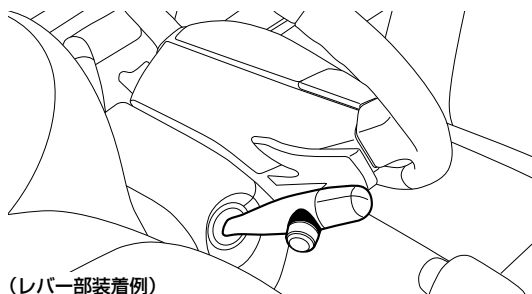
本体は、できるだけ表示が見やすい場所に装着してください。

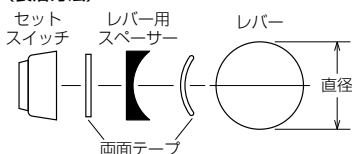
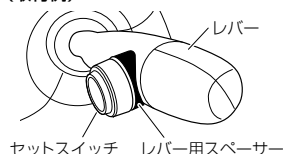
（装着方法）　（装着場所例）

コントローラースタンド使用方法

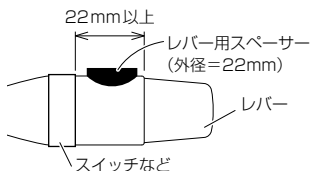
付属のコントローラースタンドを使うと曲面や斜めのダッシュボード上にも見やすく装着できます。

セットスイッチの固定

セットスイッチは、操作しやすい場所に装着してください。

（装着方法）　（装着場所例）

円柱状のレバーにスイッチを取り付ける場合は、別売のレバー用スペーサーをお買い求めください。

（レバー部装着例）

●**レバー用スペーサーセット（17、26、28、32mm）** 別売品・LSA ￥762（税別）

（装着方法）

（取付例）

取付可能なレバー形状

レバーにフォグランプやワイパーなどのスイッチがあり、22mm 以上のスペースがない車種には取り付けられません。（ただし、日産、ホンダの一部車種は、22mm 以上のスペースがなくても、取り付けることができます。）

【代表的な車種のレバーの直径】

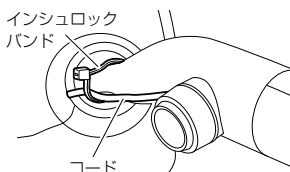
直 径	車 種
17mm	ステップワゴン、フリード
26mm	ワゴンR、ハイエース、スイフト
28mm	プリウス、ヴェルファイア
32mm	フィット、デミオ（DE）、セレナ

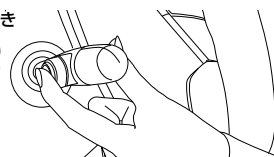
詳細はこちらをご覧ください。

http://pivotjp.com/information/lsa.html

コードの固定について

スイッチから出ているコードは、スペーサーに付属のインシュロックバンドで固定し、余りはカットしてください。

※コラムカバー内へ配線を引き込む場合は、コードの挟み込みに注意し作業を行ってください。

スイッチを押すとき

レバーが動かないよう親指で支えて押してください。

手順3 初期設定（アクセル開度設定）必ず行ってください。

はじめて装着したとき

初期設定

違うクルマに装着したとき

初期設定

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線（コネクター装着）後に行ってください。
2. 設定は キー ON・エンジンを始動しない・ギヤ位置 P（パーキング）または N（ニュートラル）で行ってください。

【設定方法】

操作手順	本体表示部
1 キースイッチをONにする（エンジンは始動しない） 	nor. または nor（ノーマルモード） ⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。
2 UPスイッチを10秒長押しし、表示を0にする 0まで押す	cAr 点滅 ⇩ -5- -4- ⋮ -0- cAr 点滅表示後、5〜0カウントダウン
3 表示0でUPスイッチはなす はなす	（例）※ L1.5 電圧表示（例＝L1.5）
4 アクセルを踏まない（アクセル0%状態にする） 	（例）※ L1.5 電圧表示（例＝L1.5）
5 UPスイッチ押す 押す ➡ 0%状態を設定	SEt （SEt表示）
6 アクセルを奥いっぱいまで踏み込む（アクセル100%状態にする） 	（例）※ H4.5 電圧表示（例＝H4.5）

※ 各表示数値は車種により異なります。

操作手順	本体表示部
7 アクセル100%状態でUPスイッチ押す 押す ➡ 100%状態を設定	SEt （SEt表示） ⇩ nor. または nor （nor 1秒表示） ⇩ 100 （100表示）
8 表示が100に変わったらアクセルをはなす 	100 （100表示） ⇩ nor. または nor （nor表示）
9 設定完了 他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。 ⚠ 設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。	

設定の確認

※表示が違う場合は再度 **2** から行ってください。

アクセルを踏まない 0%	nor. または nor（nor表示）
アクセルを踏み込む 100%	100（100表示）

※ アクセルの特性上またはアクセルの踏み方によって、A95（95%）の表示になる場合があります。

⚠ **7** で Err 表示になる場合

Err表示後 **4** の表示（L1.5など）に戻る場合はアクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 **4** から設定をやり直してください。

手順4 車速パルス設定

設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

【設定方法】

操作手順	本体表示部
1 キースイッチをONにする（エンジンは始動しない） ON または ENGINE START STOP ブレーキ踏まず2回押す	nor. または nor（ノーマルモード） ⚠ 表示がnor以外の場合は、MODEスイッチを押し、norにしてください。
2 DOWNスイッチを3秒長押しし、PLSを表示させる 3秒長押し	PLS（PLS表示）
3 DOWNスイッチをはなし、パルス数を表示させる はなす	P（パルス数表示）
4 UP／DOWNスイッチを押し、設定するパルス数を選択する 押す アップ ダウン	P-2 ↔ P-4（出荷時設定） ↕ P16 ↔ P-8

操作手順	本体表示部
5 10秒以上スイッチ操作なし	P（選択されたパルス数点滅） ⇓ P（選択されたパルス数点灯） ⇓ 消灯
6 ノーマルモードに戻る	nor. または nor（nor表示）
7 設定完了	

⚠ オートクルーズセットがメーター読み約50km/h以上でできない、または約20km/h以下でもできる場合は、設定したパルス数が違いますので、正確に合わせてください。

基本動作

エンジン始動

スロコン

MODEスイッチ押す　MODE 押す

SP ↓↑ nor ↓↑ Ec

UP／DOWNスイッチ押す　押す　アップ　ダウン ▶ スポーツモード変化率切換（SP1～7）

UP／DOWNスイッチ押す　押す　アップ　ダウン ▶ ECOモード変化率切換（Ec1～5）

9ページ

オートクルーズセット

8.8.8.● ←ドット点灯時

30km/h以上でセットスイッチ押す　押す

オートクルーズ解除

- ●セットスイッチ押す
- ●ブレーキを踏む
- ●MODE／ACスイッチ押す
- ●設定した速度を20km/h下回る
- ●速度が15km/h以下になる

ACスイッチ押す　AC 押す

オートクルーズ機能の設定

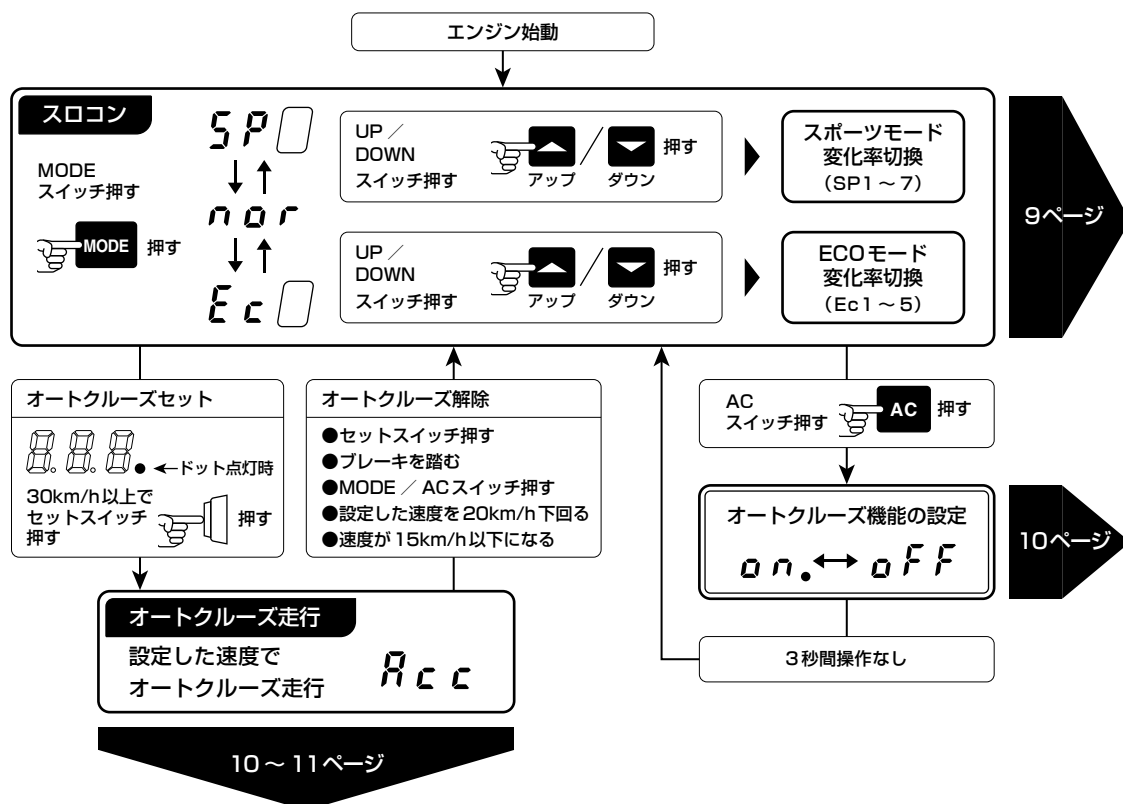
on. ↔ oFF

10ページ

3秒間操作なし

オートクルーズ走行

設定した速度でオートクルーズ走行　Acc

10～11ページ

スロコン操作方法

レスポンスの切り換え

各モードのレスポンス設定をします。

モード切り換え

スポーツ（レスポンスが高い）・ECO（レスポンスが低い）・ノーマル（純正状態）の３モードを切り換えます。

1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 MODEスイッチ
押すごとに切り換わり

※安全上、モード切換は必ず nor（ノーマル）を経由します。

リレー音について
nor 切り換え時には安全上リレーが動作し、カチッという音がします。

各モード変化率切り換え

スポーツモード（SP）・ECOモード（Ec）の変化率を切り換えます。

⚠ **変化率調整は、加速の状態を確認しながら最小値から徐々に上げてください。**

Ec0 表示中
UP／DOWNスイッチ
押すごとに切り換わり

SP0 表示中
UP／DOWNスイッチ
押すごとに切り換わり

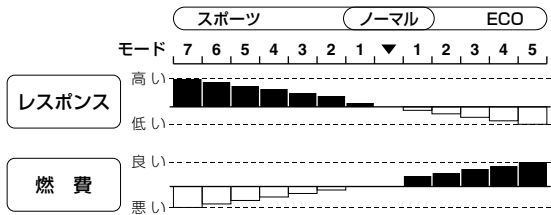
ECOモード変化率切り換え

Ec5	Ec4	Ec3	Ec1
変化率最大（−50%）	（−40%）	（−30%）	変化率最小（−10%）

スポーツモード変化率切り換え

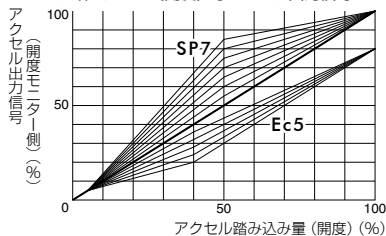
SP1	SP2	SP3	SP7
変化率最小（+10%）	（+20%）	（+30%）	変化率最大（+70%）

⚠ **各モード記憶**　各設定はエンジンOFFでも記憶されています。ただし、操作後２秒以内にエンジンを停止すると記憶されません。

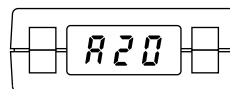
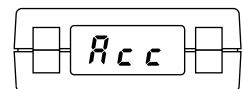
【参考１】各変化率でのレスポンスと燃費の変化例

※ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。
※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

【参考２】基本制御特性

全域で段付のないスムーズな制御を行います。

アクセル踏み込み量（開度）対アクセル出力信号

アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。（出力信号側）［15～100%まで、５%単位］

アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を０とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
※ECOモードでは100%踏んでも出力信号は80%となります。
※アクセルセンサーの特性上またはアクセルの踏み方によっては95%までの表示になる場合があります。（スポーツ・ノーマルモード中のみ）

アクセル開度（出力側）20%時

オートクルーズ動作中（開度表示なし）

用途１　エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15～25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用すると効果的です。

用途２　運転中のアクセル操作チェック

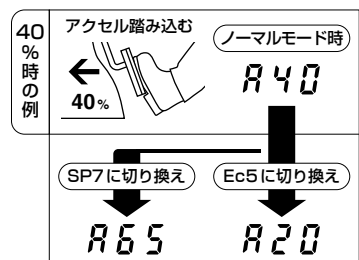
ECOモード以外でもアクセル開度をチェックできます。

用途３　制御状態のチェック

キーON（エンジン停止）状態のとき、ノーマルモードでアクセルを40%（A40）まで踏み込み、モードをSP7にすると表示は出力65%（A65）となり、Ec5では20%（A20）となります。

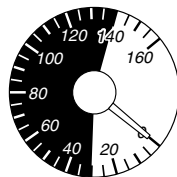
［⇒上記「基本制御特性グラフ」参照］

※表示は多少異なる場合があります。

ご使用のまえに
製品の特長
配線接続方法
製品の固定
初期設定
車速パルス設定
操作方法
お困りのときは

オートクルーズ操作方法

オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

⚠
- オートクルーズは運転を補助する装置にすぎませんので、「法定速度」を守った「安全運転」を行ってください。
- オートクルーズは次の状況では危険ですので使用しないでください。
①滑りやすい路面（雪、凍結）　②渋滞時　③急カーブや急な坂
- 急な上り坂ではエンジン性能以上の加速はできません。また、急な下り坂ではエンジンブレーキ以上の減速はできませんので、ブレーキを併用してください。
- エンジン回転が上がるため、オートクルーズ走行中にギヤをN（ニュートラル）などDレンジ以外にしないでください。

【設定可能速度】
約30〜140km/h
純正メーターでは、表示誤差から35〜145km/hくらいでの設定になります。

オートクルーズモードの設定

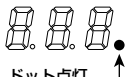
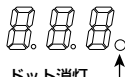
オートクルーズモードのON／OFFを設定します。
※設定はエンジンOFFでも記憶されています。

【設定方法】

1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 ACスイッチを押し、オートクルーズモードのON／OFF設定をする

3 3秒間操作なしで設定完了
各モード表示へ戻る

【確認方法】
モード・アクセル開度表示時に

オートクルーズ使用可能
最下位ドットが点灯

オートクルーズ使用不可
最下位ドットが消灯

⚠ オートクルーズ機能を使用しないときは、オートクルーズモードをOFFにしてください。

セットと解除

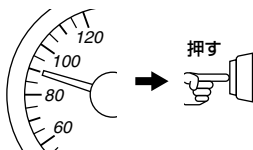
【設定方法】

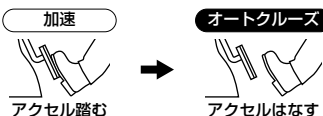
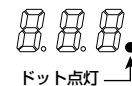
1 キースイッチON
（エンジン始動）

2 モード表示

ドットが点灯している場合のみオートクルーズ走行ができます。
上記 **オートクルーズモードの設定** 参照。

3 走行開始

4 設定したい速度でセットスイッチ押す
できるだけ速度変化の少ない状態で行ってください。

⚠ セット時には急激なアクセル操作はしないでください。
- 急な上り坂では、セット時、一度多少減速してから安定走行になります。

リレー音（カチッ）について
nor. でのセット時はリレーの動作音がします。気になる場合は、SP1 または Ec1 に切り換えてご使用ください。

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能（出力）の違いによって変わります。
レベル調整を行うことで、速い加速（設定速度に早く戻る）と遅い加速（乗り心地が良い）のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。(製品出荷時はL-3の設定です。)

L-5側 （速い加速） 小排気量車向け	エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間を早くしたい場合はL-5側に上げてください。	早く戻す
L-1側 （遅い加速） 大排気量車向け	エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合はL-1側に下げてください。	ゆっくり戻す

L-5 ↑ L-4 ↑ L-3（出荷時設定） ↓ L-2 ↓ L-1

小排気量車向け
早い（速度差が少ない）
設定速度に戻る時間
遅い（乗り心地が良い）
大排気量車向け

【設定の参考例】

L-5	アルト
L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR
L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・ステップワゴン・スイフト
L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV

⚠ **走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。**

【設定方法】

1 オートクルーズ走行中

Acc

2 スイッチを押すと現在のレベルを表示し、UP／DOWNスイッチ押すごとに切り換わる

故障かな？と思ったら

基本動作と車輌関係

症状	原因	対策
キースイッチONで本体の表示が点灯しない。 ON →	車輌のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 黒 コードの配線間違い、または接続不良。	
	専用ハーネス 6Pコネクター の接続不良。	
チェックランプが点灯した。	キー OFF後、15分以内にアクセルコネクターを抜いた。	本書（⇒4～5ページ）に従ってアクセルコネクターの配線を行い、「チェックランプ消灯方法」（⇒12ページ）に従って消灯させてください。
	「初期設定」が行われていない。	本書（⇒7ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行い、「チェックランプ消灯方法」（⇒12ページ）に従って消灯させてください。
	キースイッチONで 専用ハーネス または 6Pコネクター を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、「チェックランプ消灯方法」（⇒12ページ）に従って消灯させてください。

基本動作と車輌関係（前ページの続き）

症　状	原　因	対　策
初期設定中にErr表示になる。 Err	「初期設定」が正確に行われていない。	本書（⇒7ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行ってください。
エンジンをOFFにしても表示が点灯している。	本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症　状	原　因	対　策
モードを切り換えても変化が体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	本書（⇒7ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行ってください。
モードまたは変化率の設定が記憶できない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキーをOFFにしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2秒以上経ってからキーをOFFにしてください。
スポーツモード中、リバース時にbAc 表示にならない。 R → ✕ bAc	ピンク コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	社外ナビのリバースケーブルに接続している。	本書（⇒5ページ）に従ってリバース配線を行ってください。
	リバースランプをLEDに交換している。	●純正のリバースランプに戻してください。 ●リバース配線を行わないでください。

オートクルーズ関係

症　状	原　因	対　策
オートクルーズが動作しない。 ✕ Acc	灰 オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	2Pコネクター の接続不良。	
	ピンク コードの配線間違い。	
	設定可能速度外。	
	オートクルーズモードがOFF状態。（ドット消灯）	本書（⇒10ページ「オートクルーズモードの設定」）に従ってドットを点灯させてください。
	「初期設定」が正確に行われていない。	本書（⇒7ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行ってください。
	ブレーキランプをLEDに交換している。	純正のブレーキランプに戻してください。
	急な減速時は、メーター表示の遅れから、30km/h以上でも動作しない場合があります。	
オートクルーズが解除され、表示が消灯する。 Acc → （消灯）	車輌のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 黒 コードの配線間違い、または接続不良。	
	専用ハーネス または 6Pコネクター が抜けた。	
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。 Acc → SP2	灰 オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	ピンク コードの配線間違い。	
	「初期設定」が正確に行われていない。	本書（⇒7ページ 手順3「初期設定」）に従ってアクセル開度設定を行ってください。
	設定速度から20km/h下がる、または速度が15km/h以下になった場合は自動解除されます。	
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。	オートクルーズレベル調整がレベル小（L-1側）になっている。	本書（⇒11ページ「オートクルーズレベル調整」）に従って調整してください。
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。	オートクルーズレベル調整がレベル大（L-5側）になっている。	
速度が30km/h以上でもオートクルーズセットできない。	「車速パルス設定」が正確に行われていない。	本書（⇒8ページ 手順4「車速パルス設定」）に従って設定を行ってください。

ヒント

チェックランプ消灯方法

間違った操作などでチェックランプを点灯させてしまった場合は、下記の方法で消灯させてください。

① 正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。
② ①を行っても消灯しない場合は、バッテリー ⊖ 端子を10分程度外してください。
③ ① ②を行っても消灯しない場合は、カーディーラーなどで専用機器を使用して消灯作業を行ってください。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL 0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/